

# 有明高専だより

第44号  
有明工業高等専門学校  
〒836・大牟田市東萩尾町150  
TEL 0944 ⑤ 1011  
印刷・久留米軽印刷(有)

## 新講義棟と第二体育館

校長 吉村 虎 蔵

来年度の国債二兆円削減に伴い概算要求の査定は厳しいことが予想される中で、昨年度と本年度における本校の施設と設備の充実状況を報告したい。

五十四年度では、選択制教室棟六七二平方メートルの三階建が、すでに棟東側に竣工し、本年度は机算機の建家四〇平方メートルも管理棟に接近した運動場側に建築中である。

また既設のFACOM 230/35に加工えて来年度は時分割方式(TSS)の教育用データ・ステーション(100KB)が導入される。各科に端末機が整備されると利用の便は格段に向上され、教育研究の発展が期待される。現体育館の床板の全面修繕工事も来年度終了の予定である。

選択制教室棟、第二体育館新営は、全国高専共通の工事であるが、全国高専教育の計画的整備(大学高専教育)の計画的整備の中で「高専は各校が培った伝統と所在地域の特性等を考慮し、それぞれの特色が伸長されるよう配慮する必要がある」とされている。このようななかで本校では、各学科で共同で利用できる教育研究用設備を五十六年度の概算要求に提出し、その早期実現をはかっている。

施設・設備の充実と拡張は、以上のように年毎に新しく進んでいる。この新しい器の中で、有能な人材がより多く育ち教育研究の大きな成果が生れるのが職員学生一同の一層の自覚と奮起を念願するものである。



▼ 選 択 教 室

来年度の国債二兆円削減に伴い概算要求の査定は厳しいことが予想される中で、昨年度と本年度における本校の施設と設備の充実状況を報告したい。

五十四年度では、選択制教室棟六七二平方メートルの三階建が、すでに棟東側に竣工し、本年度は机算機の建家四〇平方メートルも管理棟に接近した運動場側に建築中である。

また既設のFACOM 230/35に加工えて来年度は時分割方式(TSS)の教育用データ・ステーション(100KB)が導入される。各科に端末機が整備されると利用の便は格段に向上され、教育研究の発展が期待される。現体育館の床板の全面修繕工事も来年度終了の予定である。

## いごさし 事務部長 藤田茂弘

この度、東京学芸大学から本校に参りました。よろしくお願いたします。

職歴でご覧のように高専は、新居浜、長岡、東京と勤務いたしましたが、この度の職務は始めてであり日も浅く、とまどいと緊張感の中にも又、高専で勤務できますことので懐かしい気持ちもあります。

最初に高専で勤務しました昭和四十年からしばらくは、学年進行、

からの夕日の眺めもすばらしく、一日の疲れも忘れる程です。

最近の一般世相は、公務員に対して風当たりが強く又、人員、予算面でも厳しく制約されており、校長先生のご指導のもとに教職員の皆様方のご協力を得まして、教育、研究の環境作りに励みたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

以上ご挨拶がたがた感想の一端を述べさせていただきます。

出身地 高知県香美郡香我美町

学歴 昭和14年3月県立高知工業学校卒業

職歴

24	9	高知大学庶務課
28	10	同 学 農 学 部 庶 務 係 長
33	4	同 学 人 事 係 長
37	4	同 学 庶 務 係 長
39	4	同 学 庶 務 課 長 補 佐
40	9	新 居 浜 高 専 庶 務 課 長
45	4	長 岡 高 専 庶 務 課 長
49	4	東 京 高 専 庶 務 課 長
52	4	東 京 学 芸 大 学 厚 生 課 長

## 小西裕司君の裁判について

学生 主事

昭和四十六年一月、当時工業化学科二年に在学していた小西裕司君が、柔道部の練習中に頭を打ち脳挫傷、硬膜外血腫等の頭部外傷を負い、言語障害、歩行困難等の後遺障害のある身体となったため、昭和五十二年一月、国に対する損害賠償請求の民事訴訟を提起していた裁判については、昭和五十四年九月、国に対して約二五〇〇万円の賠償金の支払いを命じた熊本地裁天草支部の判決があったことは、本高専だより第四一号でお知らせしたとおりであります。

この裁判について国側は、判決理由に不服し難い点があったので福岡高裁に控訴していたのですが、本年九月八日に判決があり、その結果は、本件事は全く不運な出来事であるとして、第一審の判決を取消し小西君の請求を棄却するというものでした。

なお、小西君はこの判決を不服として上告の手続きをとっていますので、事件の解決にはまだ日時を要する見込みです。

この裁判とは別に、現在天草リハビリテーションで機能回復の訓練中である同君の早期回復を願うものであります。

### 第14期生 卒業研究テーマ

昭和56年3月卒業予定学生諸君の卒業研究テーマを学科別に示す。報文番号・報文題名・指導教官姓・学生氏名の順に示す。

#### 機械工学科

- 総合実習(風洞周辺部分の製作) (清森) 堤 則光・東田良治・福山敏行・安武浩之
- 同上(センサー移動装置の設計・製作) (田口) 大賀康広・吉田秀行
- 熱線風速計検定装置の修正と防風網の実験(木本) 高田康二・石坂桂一郎
- XYプロッタ(電算機)による機械部品の製図について(池本) 梅本春男
- 18-8ステンレス鋼と軟鋼の拡散溶接(小田) 徳永和彦・松岡賢次
- 18-8ステンレス鋼の疲労に関する研究(大山・宮川・小田) 徳永貴久・橋本和也
- 粗粒材のX線応力測定(宮川・小田・大山) 片桐浩輝・鶴 栄次
- 多翼送風機の実験的研究(清森)中上俊哉・藤岡正利
- 二重管内における気液二相流の研究(猿渡) 藤原祐介・深浦 治
- 長方形ダクトにおける気液二相流の研究(猿渡) 段下安宏・西山浩司
- ヒートパイプに関する研究(下村) 松本和夫・渡 和俊
- 単刃リーマの研究(田口) 大城晋二・西原国博
- むだ時間を含む制御系の設計問題(川崎) 石川芳幸・村上義広
- 太陽エネルギーに関する基礎研究(石崎) 立原慎二・松本文雄

#### 電気工学科

- 誘導電動機の設計と製作(武下) 大倉健裕・吉永清人
- 電動機の応用(武下) 藤木 巧・鎌水正一
- デジタル制御の研究(荒木) 大田明範・木戸健二
- 計算機制御の基礎研究(荒木) 田中 豊・松本隆治
- 材料の耐アーク性の研究(須藤) 江崎浩秋・塚本章文・萩原郁夫
- 過度現象解析(辻) 井上隆二・久保田桂二・高山尚樹
- 感度計算(辻) 内田伸輔・溝上秀徳
- PLLの応用(近藤) 井上 寧・富吉正治
- CRTキャラクタディスプレイの製作(近藤) 大跡伸一・木下 博
- 磁性体の応用(小沢) 田代和也・蓮尾隆二
- 磁性体の応用(小沢) 小柳 博・松山孝幸
- 電気集塵装置におけるイオン風分布(浜田) 浦野俊雄・月田俊介
- 模擬送配電線路実験装置(浜田) 浜口 豊・門前徳生・横山正徳
- 浮動小数点型BASICコンパイルの作製(松野) 中山富男・間々田直行
- FORTRAN演習プログラムの作製(松野) 近藤秀行・水原誠二・森口薫雄

#### 工業化学科

- ポリウレタンの熱分解に関する研究第11報 熱分解ガスクロマトグラフィーと熱分析(吉武) 荒巻和彦・伊藤富生
- 加・減圧併用過渡装置の試作(石橋) 飯田茂樹・小川照秋
- マンガンアンモニウムカルバメートからの電池用

MnO<sub>2</sub>の合成とその特性研究(田辺・永田・渡辺・宮本)

- Mn 鉱石からのマンガンアンモニウムカルバメートとしてのMnの抽出
  - 重質 MnCO<sub>3</sub>の直接酸化及び粗MnO<sub>2</sub>の再酸化による電池プレートMnO<sub>2</sub>の合成
  - クロレート法によるカルバメートからの合成 MnO<sub>2</sub>の重質化
  - カルバメート法による各種CMDのZnCl<sub>2</sub>型乾電池用としての放電特性
  - カルバメート法による各種CMDのアルカリマンガノ用乾電池としての放電特性
  - カルバメート法によるCMDの加熱特性並びに脱水性と脱水物のLi-Mn電池としての放電特性
  - カルバメート法による各種CMDへのZnCl<sub>2</sub>型乾電池を対象とした適合電解液
- 重金属廃液処理の改善研究(勝田) 今村克裕・堤 英明
  - セルロース系イオン交換体の合成(松本) 浦島和浩
  - 液晶に関する研究第3報 示差走査熱量測定と核磁気共鳴スペクトル(吉武) 鐘ヶ江弘樹・武末由美子
  - ZnO・Cr<sub>2</sub>O<sub>3</sub>系化合物の合成と物性の研究(勝田) 川桐 純
  - 粉粒体の空気輸送装置の設計(石橋) 佐田善三・田中敬典
  - スチレンオリゴマーよりイオン交換体の試作(勝田) 野田敏一・園田 聡
  - 分別ポリオキシエチレンの分子量分布(河野) 高本憲二

#### 建築学科

- 総合的実験実習における設計及び施工管理についての研究(吉岡) 下坂唯一・坂中政博・沼 義光
- 苛酷な条件にある建築材料の性状(吉岡) 中村文夫・近藤一弘
- ソーラーハウスに関する研究(吉岡) 中村豊彦
- 直下地震における鉄筋コンクリート単独柱の災害防止に関する研究(その1 実験的研究)(玉野) 城戸博彦・内藤浩敏・浜 光一・吉野祐二
- 同上(その2 光弾性による弾塑性解析)(玉野) 中村義彦・久木原耕晴
- 総合的実験実習施設の計画及び設計(玉野) 山口政徳
- 鋼素材の繰返し特性(原田) 佐々木英二・小川伸司・下川浩一
- マイコンによる構造解析(原田) 伊藤節子・江口 茂
- 風応答に関する基礎的研究(三宅) 古賀美由紀・太田黒博文・松本 博・内倉浩章
- 文章の読みやすさに関する研究(山下) 堀下 浩・今村友之
- 有明海における海上空港の提案(松島) 梶原孝広
- 古代建築モジュールに関する研究(松島) 武藤敏浩・吉田優美
- 大牟田市南部地域ニュータウン開発計画に関する調査研究(新谷) 古賀千寿・田中雄二・南 一吉
- 戦後におけるわが国の病院建築の計画に関する発達の史的的研究(新谷) 小川節治・森 雅司・吉田伸一
- 保育施設に関する研究(北岡) 甲斐美宝
- 設計の方法に関する研究(北岡) 安東孝洋・井上敏典

## ドイツ瞥見

### 瀬戸 洋

ドイツはもとより、外国は初めてである。語学教師でありながら、話す、聞くは大の苦手で、大いに緊張した。でも、赤恥はかきながら、なんとかドイツを遊んで来た。以下は、旅の印象の一端である。

ドイツはのっぺりしていて、日本に比べて変化に富んだ自然を見られた目には、何か物足りない。山が抜けているような気さえずる。山らしい山が全くないのである。小高い所はあっても、たいしてなだらかな丘陵をなして、山と呼ぶには余りに貧弱すぎる。もちろんドイツも南に行くにアルプスがひかえているので、二、三千メートル級の山があるにはある。しかし、少なくとも中部以北は全くの平坦地といっている。だから、二、三時間汽車に乗ってもトンネルに出会うことはほとんどない。日本は西ドイツの約一・五倍の国土を有しているが、人の住める土地は、そのわずか七分の一にすぎない。それに対し、ドイツは国土を十分に利用して、耕作地なり、牧草地なり、宅地なりに使うことができる。何かするにしても、日本のように、山を切り崩したり、トンネルを通したりする必要はないのだ。そういう意味では、ただ、

だだっ広いだけのドイツの方が国土としては、はるかに豊かといえる。町は美しい。特に、田園風景の美しさは絵のようである。それがかたな丘陵に点在する農家。それとすぐわかる教会の塔、滴々と水をたたえてゆるやかに流れる河、広々とした牧草地に草をはむ牛や羊、どこを見てもバルビゾン派の絵を思わせる。

町はこじんまりとまわって、蒼然とした中にも明るい雰囲気をもたらしている。ドイツの町はほとんどが激しい戦禍を受けて、廃墟と化した所が多いのだが、戦後再建するに際しては、可能な限り町を復元することに努力を払っている。こういう所は、ドイツ人はきわめて頑固であり、保守的であり中世のおもかげを残している。大都市くらいでは高層ビルをはじめとする現代的建築物を目にする。ことはほとんどない。イルミネーションや広告の類にも気を配っているらしく、ごてごてしたものはなく、ござざりした感じだ。ペランダやバルコニーには色とりどりの花が植えられていて、道行く人を楽しませてくれる。ところで、この花、よく見ると、外向きに咲いている。自分の鑑賞用のためばかりではなく、家の外観を考慮して、ひいては美しい町づくりを考慮に入れているのである。そんな風だ。

から、例えば洗濯物等は全く置いていいほど外には干されていない。うっかり外にでも干そうものなら隣人からやかましく言われるというところであった。これは庭園やお花にも言えて、ちよつと手入れをおこなったと聞くと、やはり近所がうるさいと聞くと、彼らには、町はみんなのものであり、それを守るの自分たちの手であるという強い市民意識があるようだ。いや、もしかすると、そんな高尚なことではなく、彼らにわれわれ外国人にも実に親切であるが、その親切心が高じて、ただ車にお節介をやいているだけなのかもしれない。

最初のうちは、このようにおしなべて美しく整然としたさまに、嘆息をあげ、感心していたが、そのうちに慣れた。というよりむしろ、人工的ともいえる、余りに秩序だったたたずまいに、何か血のかよわぬものでも見るような得体的な無気味ささえ覚えるようになった。そして、「ああ、ドイツ人はこの潔癖性と徹底性をもってあのユダヤ人虐殺にはしつたのか」と考えたりした。しかし、それは言うものの、二ヶ月の研修を終えて、伊丹の空港に着いた時は、正直なところ、日本のごみごみみて、ミンモクソも一緒にしたような雑然さには、いささか辟易し、いま来しはるかの西の空をおお

## 学寮だより

### 新寮長抱負

#### 4M 草野 伸介

昭和五十六年度の寮自治会役員が、新任されました。

寮長4M草野伸介、副寮長3M中嶋修、総務4A小川敬二、4A山本茂範、会計4M小島良一、体育4A小形伸治、娯楽4A今村利弘、風紀4A藤崎剛、文化4M吉村剛、整備4A高巢義博、美化4A木場盛雄、出版4A上田清、厚生4A井上久州夫。

以上、各局長を紹介しておきます。

**任期を終えて**

5M 梅木 春男

寮生活の中はじめにつけるため、一段として「風紀の徹底」というのを目標にスタートしてから、あつという間に一年間が通り過ぎて行ったようだ。

目標が達成されたかどうかよりも先ず嬉しかった事は、問題になっていた盗難が消滅した事である。毎年のように起きていた事だけに、何とも言い難い事だ。この盗難というのは非常にやっかいなもので何かについ悪影響を与えられたような気がしている。寮長になってすぐに起きた頃は、何も手につかず、ただそれだけで何日も過ぎたような気がする。一時は新聞にまで載り、恥かしい気持ちでいっぱいだった。本年度になってからは、各自の管理と部外者の立入りが増えた事が考えられる。主事の先生方の巡回等がかなりの効を奏したのもと思っている。

さて、肝心の目標だが、こちらにも寮生の協力の成果が現われているように思う。しかし、風紀面よりも時間的な事の方が良い成果が現われているようだ。朝の体操にも慣れて来たようだが、今からの冬場を乗り越えれば、きっと良い習慣になると思う。又、遅刻

飛躍していくことを期待して、少しでも、プラスの方向へ進むよう今期一年間、自治会を頭として、全員団結して、頑張るつもりです。

又、今まで、当直して下さる教官でも、何の関係がなく、寂しい様な気がしています。それでこれから、我々寮生は、学業の合間、コンパ、レクリエーション、その他に、積極的に活動していきたいと思っておりますので、その機会には部外者の方にも、参加をお願いして、交流を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

最後に、社会に出て有明高専寮生として、誇り高く生きられる人間像へ努力したいものです。

# 冷夏に思う

## 中村安生

としての結果の中に埋没しており、平均的な像しか出ていない。

今年の夏は、涼しくて過ごしやすかった。クーラーの世話にならずとも、仕事は能率よくやれた。といって喜んでいるわけにはいかない。冷夏の為に、生きて行くのに必要不可欠な農作物は、甚大な被害を受けている。学校への途中の稲の刈葉は白くなり稲穂は天を向いたままのものが多い。東北、北海道では、来年の種子さえも収穫できない地域さえある。営々と育てて来た作物がみじめな姿をしているのを眺める人々の心の中はいかばかりであろう。

夏休みをはきんで三ヶ月の間、学生諸君のいっつも52年度の二年生、現在の五年生の性格と行動学習との関係の調査。この調査をもとにして少し書いてみる。

五年生は記憶していると思うが二年生の時に、三種の性格検査を行った。就職試験を受けた諸君には、これらの検査に近い検査を課せられた者が多いはずである。この検査を通して、性格、人格、物の見方、考え方を探り、少しでも、立派な人格を持った者を採用する為である。

現在のところ、Y G検査との関係した調査していない。集団としてのような性格特徴を有しているか調べた。個人の性格は、集団

クラスによって性格特性が少しづつ異なり、これに開校以来の各科の伝統的な雰囲気加わり、それぞれ異ったクラスを作っている。伝説は、その中にいる者がエネルギーを注ぎこむことによって生れ出したものになり、後に続く者に影響を与え、伝説が活力を引き出してくれるのに気付いてもらいたい。

色々な原因があらうがストレートに五年生になれなかった者が可成り居る。この人達と五年生との間には、性格的に少し異なった面がある。前者は、抑うつ性が強く気分の変化が大きく、協調性に欠け、攻撃的な面があり(陰険になりやすい)、支配性が弱いが、反面劣等意識はあまりない。情緒が不安定で社会的適応性に欠け、一見強そうであるが、その実脆い性格の持ち主が多い。これは、五年生になつて居る者と比較しての話であつて、標準化されている標準点と較べるとほとんど差異はない。これは、各クラスについてもいえる。

出席簿にのらんの印もない日は珍しい、というクラスがある。留年という事態と欠席欠課との関係の調査を、留年した年の欠席欠課が他の者に較べて目立って多いのは勿論ではあるが、前年の欠席欠課も、そのときのクラスの平均

の二倍位かまたはそれ以上の多くなっている。集団としては、留年等をした者は前述のような性格特性を有している。この特性には、ほとんど気付かず欠席欠課をして遊んでいたり、朝寝坊をしてい

# 工場見学

5月21・22日	建4年	三菱重工業福岡製作所
5月23日	建5年	親和銀行・佐賀県立図書館
5月26・27日	機5年	福岡県庁・福岡市立美術館
5月29日	機5年	久留米大学医学部
5月29日	機5年	黒崎工場
6月5日	電4年	大牟田電報電話局
6月6日	電4年	有明電機工業所
6月6日	建3年	三井コンクリート工業・日立造船
7月3日	工化5年	九州工業技術試験所
7月8・9日	電5年	九州工業技術試験所
7月14日	工化2年	三菱重工業長崎造船所・三菱電機長崎製作所
7月14日	工化2年	三井アルミニウム工業
9月4・5日	電4年	三菱電機福岡工場・九州電力玄海原子力発電所
9月11日	建5年	荒尾市民病院
9月11・12日	機1年	ブリヂストン・サイクル工業
9月24日	工化1年	三菱重工業福岡製作所
9月25日	建5年	九州電力新港発電所
10月3日	機5年	久留米大学医学部
10月3日	機5年	九州電力新港発電所
10月20日	電5年	黒崎工場
10月22日	工化4年	三井金属工業銀水工場・電気化学
10月27・28日	機2年	九州電力八丁原地熱発電所
10月30・31日	電3年	九州石油大分製油所・新日本製鉄大分製鉄所
10月30・31日	建3年	三菱重工業セメント北九州事業所
11月6・7日	工化2年	三井アルミニウム工業
11月11・12日	工化3年	黒崎製炭黒崎工場・日本フェロ
11月11・12日	工化3年	中間工場・三菱化成工業黒崎工場・八幡エナメル・三菱製炭セメント北九州事業所

# 有明高専 図書館だより

## 34

### 昭和55年度 第1回 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 南部地区研究会

とき 昭和55年9月26日(金) 13時30分~16時30分  
ところ 本校図書館セミナー室  
表記研究会は毎年3回開催され、本年度第1回を本校が担当した。本年度の研究テーマは昨年度第3回の研究会において設定され、今回は次の2点について研究・討議された。  
(1)大学図書館における機械化導入について(その一)(久工大・鬼塚氏)  
機械化導入の背景として、処理量と処理要員の相関関係、蔵書数と職員数との関係、図書館に対する高度なサービスの要求、情報の複雑化・多様化といった点をとりあげ、電算化の経緯、電算化の現状について研究発表された。今後、大学の図書館の電算化のあり方については、センター館を中心にオンラインネットワークシステムを確立し、二次情報流通機構によって検索された一次情報は、一次情報流通機構によってその所在を知り、センター館なり、所蔵館なりから必要に応じてハードコピーの

# 新着図書案内

- 昭和55年4月以降新着図書の一部について、ND C主分類に従って案内します。
- O 総記
  - 読書は愉しみ 中村真一郎著
  - 二十世紀の知的冒険 山口昌男著
  - マイコンを築き上げたB&YCマスター 池孝三著
  - 肩書きのない名刺 三國一朗著
  - ゾルゲ追跡—リヒアルト・ゾルゲの時代と生涯—Deakin, E. W.著
  - 1 哲学
    - マウツァンゲ—人間の行動学— Morris, D.著
    - 快の打ち出の小槌—日本人の精神分析講義— 佐々木孝次著
    - 神祕学講義 高橋 巖著
    - キミヨ歩いて考えろ 宇井 純著
    - ヨーロッパとイスラム世界 Southern, R. W. 著
  - 2 歴史
    - 明治民衆史を歩く 井手孫六著
    - 風景の見方 Cornish, V. 著
    - マツノ・カルタの世紀—中世イギリスの政治と国政—一九九— 一三〇七— 城戸 毅著
    - フランス革命下の—市民の日記— セレストン・ギタール著
  - 3 社会科学
    - 母親たちとの対話—子どもをどう理解するか—Betelheim, B. 著
    - ある自由主義者の肖像 Galbraith, J. K. 著
- 日本経済史 永原慶二著
- 西洋経済史 河野健二著
- アメリカ経済入門 本間長世等著
- 4 自然科学
  - 動物と人間 河合雅雄著
  - 最新化学への招待 朝日新聞社編
  - 二十一世紀への助走—科学技術の未来— 尾崎正道著
  - 地球を測る 大塚道男著
  - 図形と投影 前川道郎著
  - サルが目撃の目 河合雅雄著
  - 病める地球、ガイアの思想—汎気候学講義— 根本順吉著
  - 5 工学
    - 木工具—使用法—機能・種類、仕立て—使い方— 吉見 誠著
    - 都市—ローマ人はどのように都市をつくったか—Macaulay, D. 著
    - G.A. Document 第一巻 Vincent, S. 等著
    - 化学工学概論 岡崎守男等著
    - 大発明の歴史—成功と失敗のドラマ— Stein, R. 著
    - 機械用語辞典
    - 機械用語辞典編集委員会編
    - 化学工学用語事典 城塚正等編
    - 6 産業
      - 農協—巨大な挑戦— 立花 隆著
      - 産業資源と代替エネルギー—政府関係資料— 産業技術会議編
      - 80年代の基礎産業 宮沢健一等著
      - ソフト—インダストリーの時代— 井上隆一郎等著
  - 地域からの産業論 今井賢一等著
  - 産業社会と日本人 山田勝久等著
  - 新貿易立国論 鶴田俊正等著
  - 7 芸術
    - コリンヌはなぜ死んだか 鈴木 明著
    - NIDA Stein, R. 著
    - 映画裏方ばなし 鈴木一八著
    - 美術の歴史 Janson, H. W. 著
    - 8 語学
      - 文章心得帖 鶴見俊輔著
      - 就職のための英語面接 トミー・植松著
      - 中世スペイン語辞典 近松洋男著
      - 9 文学
        - あ、野麦峠(統一) 山本茂実著
        - 遠藤周作著
        - 花石物語 井上ひさし著
        - 落城記 野呂邦暢著
        - 上海パンスキング 斎藤 憐著
        - 雪の祝祭日 野津阿佐子著
        - 女の呼吸 折目博子著
        - 天使 遠藤周作著
        - 頭医者青春記 加賀乙彦著
        - 流沙—上・下巻— 井上 靖著
        - 武田勝頼—一—三— 新田次郎著
        - 遺き落日—上・下巻— 渡辺淳一著
        - 手紙歳時記 佐々木幸綱著
        - 妹 小中沢小夜子著
        - ガラスのうさぎ 高木敏子著
        - 光と風と雪と樹と 今西裕行著
        - 猫は夜中に散歩する 田中小実昌著

# レファレンス・コーナー

レファレンス業務として、オンライン情報検索サービスを始めました。

このサービスは、情報を直接利用する者が日本科学技術情報センターの電算機システムと連絡されている公衆電話回線を通じて接続した端末装置を使って、自分の意のままに情報を検索するものです。

現在検索できるデータファイルは JICST(理工学) CA Search(化学) MEDLARS(医学) TOXLINE(毒性) CLEARING(国内研究案内) SSIE(米国内研究案内)の各文献ファイルです。

各ファイルとも書誌的事項、キーワード、分類などを含みますが、抄録は含まれていません。またすべて英字・カナ文字で入力されています。詳細については図書館備付の資料を御覧ください。なお、このサービスの利用者は本校の教職員のみです。利用を希望される方は図書館へお申し出ください。



### 教室通信

- 機械工学科**
- 川岩義則先生 7月11日長男 義彦ちゃん誕生、おめでとうございます。
  - 吉田忍夫君43機□新築転居 ◎神奈川県中郡大磯町大磯711 TEL 0463(6)2640
  - 興石 節君43機□転勤 ◎026 釜石市新浜町1-2-11出光興産釜石出張所 TEL 0193(2)1796 ◎026 釜石市大只越一丁目8の35
  - 上村敏雄君43機□結婚 10月6日 新婦真須代さん(旧姓小柳)
  - 河口 昭君44機□結婚 9月28日 新婦美千子さん(旧姓河野)
  - 宮島英典(旧名真人)君45機 ◎241 横浜市旭区若葉台1の2の807
  - 三ヶ次雄君46機□結婚 6月29日 新婦悦子さん(旧姓成田) ◎350-04 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷1371-2 TEL 0492(9)45496
  - 原田忠彦君47機□結婚 9月21日 新婦和江さん(旧姓河野) ◎福岡県三池郡高田町江浦675
  - 宇野秀輝君49機□転職 合志技研 ◎菊池郡菊陽町津久礼3566-19 武蔵ヶ丘団地341棟11 TEL 0963(8)5422
  - 河島亮介君50機□新築転居 ◎兵庫県津名郡東浦町楠本1494-9
  - 小松博文君50機□結婚10月11日 新婦美和子さん(旧姓松藤) ◎玉名郡南関町大字関外目1213の2
  - 原田照利君52機□転職 九州大学生産科学研究所発熱工学部門 福岡市東区箱崎6丁目10-1 TEL 092 (641) 1101(内)6749 ◎粕屋郡篠栗町高田447-1 九大篠栗宿舎 TEL 0929(4)0494
  - 河野勝義君53機□転職 九州電子KK ◎869-34 熊本県宇土郡三角町大字手場588-3
  - 藤田知文君53機□転職 高千穂カメラKK久留米店 ◎837 大牟田市草木805 188棟
  - 中川原信也君54機□結婚 新婦美智子さん(旧姓猿渡) ◎229 神奈川県相模原市下九沢1304-1 TEL 0427(6)25967
  - 有富久敏君55機□旭興産(株) ◎569 大阪府高槻市上牧町2丁目4の10 若樹寮
  - 大久保安英君55機□日本データゼネラル(株) ◎361 埼玉県行田市長野1030の7
  - 植島寿治君55機□日本化学工業(株) ◎590 泉南市北野488 北野社宅B棟
  - 塩塚 信君55機□日本航空(株) ◎千葉県成田市中台3丁目1番地 日本航空中台寮A-1239号室 TEL 0476(2)64111
  - 杉本 隆君55機□ヤマハ北陸(株)ポート営業技術 ◎921 金沢市泉本町1-33 ヤマハ北陸金沢寮 TEL 0762(4)34599
  - 田中俊也君55機□プレス工業(株) ◎240 横浜市保土ヶ谷区鎌谷町270 プレス工業保土ヶ谷寮
  - 辻村幸二君55機□明電舎 ◎410 沼津市神田町1の18 明電舎第1岡の宮寮A-203
  - 友田康二君55機□日立精工(株) ◎211 川崎市幸区小倉462 清新寮318号 TEL 044 (533) 9623
  - 西山 誠君55機□富士縫製(株) ◎大分県大分郡庄内町大字高岡518-2 富士見寮TEL 0975(8)23329
  - 野間口勝康君55機□大洋興業(株) ◎815 福岡市南区中尾町2丁目15の7
  - 宮原茂君55機□日立プラント建設(株)電力原子力事業部火力部(機械グループ) ◎東京都北区浮間1-13-20 日立プラント建設(株)浮間寮223号室
  - 森田裕二君55機□東芝エンジニアリング(株) ◎230 横浜市鶴見区北寺尾3-4-6 東芝エンジニアリング北寺尾寮
  - 渡瀬啓文君55機□東洋工業(株) ◎広島市南区大州5丁目11番3号大州東洋ハウス TEL 0822(8)42051
- 電気工学科**
- 江藤計介君49電 4月20日結婚されました。新婦は久美子さん。おめでとうございます。新居 ◎745 徳山市若草町9の14 出光若草社宅315室 TEL 0834(3)1248
  - 杉本政一君54電 新住所 ◎286 成田市中台3の7
- 日航中台寮A-642号
- 近藤 洋君55電 新住所 ◎227 横浜市緑区佐田北2の2の5 富士通第一市ヶ尾寮B2-12
  - 小出 章君53電 豊橋技術科大学を卒業し日本通信建設KKに勤務 新住所 ◎213 川崎市高津区下作延325 片山司津雄方
- 学校来訪者**
- 新宅正芳君48電 山下広喜君48電 西村亮一司49電 松本幸雄君54電 矢ヶ部喜俊君54電 以下の方は全て55年電気卒です。
  - 田島新治君 堤 豊君 松本寿徳君 清水 泉君 前田正治君(大牟田電報電話局勤務) 仲野秀明君 吉村幸満君 奥下文夫君 矢元裕之君 菅原知実君 浅田敏夫君 堤 修君 近藤 洋君
- 工業化学科**
- 辻先生 入院中でしたが一応回復され、5月より学校に復帰されました。
  - 黒田規嘉志君55化 ◎306-04茨城県猿島郡境町上小橋55-1 旭化成筑波寮
  - 西部正博君55化 ◎825 田川市大字伊田4472 TEL 0947(4)24743 (銜石橋組)
  - 浜 利一君55化 ◎251 神奈川県藤沢市辻堂新町4-3-2 (株)日本オイルシール雄飛寮2-10 7月24日来校
  - 内田寿裕君55化 ◎564 大阪府吹田市岸部北4-25-1 日本ヘイント吹田寮 TEL 06-388-3821
  - 福島哲夫君55化 □6月19日来校
  - 折小野伸彦君52化□転職 熊本酸素(株) TEL 0963-55-3321
  - 桜井陽一君(旧姓田島)47化 6月2日結婚 新婦由美子さん ◎064 札幌市中央区南2条西26丁目174番地 チサンマンション706号
  - 田坪節子さん(旧姓吉村)49化 ◎転居 大阪府城東区鶴野西5丁目1-1-214 TEL 06-963-0120◎転職 大阪府松原市大堀町191 松原市立恵我小学校教諭
  - 石田雄二郎君47化 9月23日結婚 新婦さかえさん(旧姓札) ◎457 名古屋西区桜木町107 中京マンション2-9 TEL 052-823-1707
  - 田中明示君43化□結婚 5月24日 新婦房枝さん(旧姓吉田) 新居 ◎800 北九州市門司区大里東一丁目10の20 第2五和荘101号 TEL 093-391-2508
  - 杉野光広君46化□転勤 出光興産(株)潤滑油部 ◎101 東京都千代田区丸の内3丁目1番1号 TEL 03(213) 3111 新住所 ◎272-01千葉県石川市新井3丁目21-20-606号ライオンズマンション市川 TEL 0473(5)83148
  - 後藤 忠43化□転居 ◎300-15 茨城県北相馬郡藤代町清水1-105 通称光風台45-3 (取手駅下車常盤線) TEL 0297(8)34798
- 建築学科**
- 山口光臣先生の退官記念事業が7月～9月で行われました。190名の同窓生・教職員の方々が参加され、どうもありがとうございました。詳しくは、別紙郵送分を御覧下さい。
  - 又、上記事業の一環として、記念祝賀会が8/16大牟田ガーデンホテル平安の間に、110名の参加を得て盛大に開催されました。1～8期の卒業生の元気な顔、旧教職員の間で懐かしい姿が一同に会して、忘れ得ぬ思い出多い会となりました。
  - 三宅昭春先生に、9/21体育祭当日、次男誕生。名前は正剛君、どうもおめでとうございます。
  - 原田克身先生が6月に転居されました。◎869-01 熊本県玉名郡長洲町大字宮野1289-8 TEL 09687-8-1086
  - 技官の村久木志郎さん、5月に転居されました。◎836 大牟田市東萩尾町150 高専官舎
  - 技官の田中立夫さん、5月に転居されました。◎864 荒尾市下井手785 高専官舎
  - 古賀憲一君(48建) 千代田化工建設(株)、7/15からサウジアラビアへ転勤。
  - 鶴田 誠君(48建) ◎竹中工務店(株)東京研究所に転勤(T E L 03-647-3161第8ユニット内) ◎277 千葉県柏市ひばりが丘11番17の246号 (T E L 0471-64-1762)
- その他
- 石井美江(寮母さん) □転居 ◎荒尾市下井手24 有明高専宿舎 T E L 09686(6)4198 (寮内の宿舎です。)

### 後援会所感

#### 後援会長 藤本憲房

夏には珍らしい連日の雨、秋のような肌寒い気温、各地の水害、冷害、全く異常続きの天気でした。そして十月、後援会の皆様方には御健勝のことと拝察致します。一昨年から後援会長の御推薦を受け、その器に非ずと思いつ、微力を尽して参りました。後援会の理事会は校長先生始め各理事の先生方と、クラス毎の父兄理事で構成され、学校運営についての問題点や検討事項等を審議してあります。その内容は会則に明記されている通り、教育事業の援助、会員相互の親睦を柱に、学生の課外活動、保健体育等の分野にわたります。が、今日は私の平素考えています素人の教育談義を少しお話ししたいと思えます。怪い気持ちでお読み下さいませ。様お願い致します。

一、最近の道徳

昔から「法律は道徳の最低のもの」と聞きます。息子「バイクを買ってくれ」学校は隣りに、子供に寛容で理解ある？親父は安月給の一部にパートで母親が稼いだ副食代をカットしたもので、ピカ／＼の給を買ひ与える。しかし何のことはない。息子は血まみれで帰宅した。子供をはねたのだ。「それは子供が悪か、親も悪か、親は子供を保護する義務がある」とはねた子供の親の保護責任を責める親の言葉が気になる。親父の責任転嫁と手前勝手な法の解釈を子供は逆にあつてはならないだろう。親父の毅然とした姿勢を子に求めてはならないだろうか。子供の心の底にある純粋なモラルを引出すのは親ではないだろうか。私には考えていません。

二、最近の学生について

本年学校は第十三回目の卒業生を送り出しましたが、学校は社会的な使命を果すべく、他校に負けない技術者の育成に努力しておられます。社会は日進月歩ではなく、秒刻みの世の中に変つてはいます。私達父兄も新たな知識を身につけねばならぬように思います。理事会の懇談でこうした真摯な話がよく交わされます。

ゲーテの箴言に「人間は若き日の希望を満しながら年老いて行きたいもの」とありますが、いわゆる点取虫の思考ではなく、子弟のために、スポーツ、勉強、家庭生活などについて動機づけをしてやること、つまりやる気を起させること、これが後援会、父兄の役割であり宿題であろうかと思われまふ。家庭で「あの先生は熱がいない」とか「よく教えてくれぬ」という言葉を耳にされたら、「喰いつき、そして習え」と言うべきでしょう。人を誹謗し自らを正当化しようとする人間の醜く汚い根性は、社会に適用しないと私は考えます。時には親の厳しい愛のむちも必要でしょう。大海に抛り出され遠くを彼岸にたどりつくまでの努力が貴重なのです。親と子のコンパスと子供の努力という連繫プレイ。この私の願いは単なる机上の空論でしょうか。

三、就職などについて

かつては炭部大牟田の七色川と云われた大牟田も、公害問題が取り上げられると、有明海のボラが五月橋まで上つてくるほど流れが澄んで来ました。しかし公害が減ると地元職は少なくなり、桜の頃は就職する子供との別れのシーンが駅頭で多くなります。

ところで、高専関係では就職事情は企業の業績が好転し、嫁一人に婿七人という好況ともいえます。本人の意志次第では国内はおろか、国外まで活躍の舞台は拡がっていると言います。世界の国々は隣国志という実感が湧いて来る此の頃、学生諸君の雄飛と活躍を祈らずにはおられません。

最後に後援会長として一言。良き先輩と先生を得て、後援会も有意義な活動を続けていますが、これも御父兄の皆様御支援、御協力があったこと、今後とも後援会の活動、運営のため、何卒暖かいお気持ちで御力添えの程を理事一同心からお願い申し上げます。

### 有明高専のちよつといひ話

一昨年、戸板康二氏の「ちよつといひ話」が評判になった。ことさら美しい美談集といつたものではなく、いわば各界知名士のエピソードを集めたものだ。ちなみに、最近好評にこたえて「新ちよつといひ話」が出ている。われわれも戸板氏にちなみ本校の「ちよつといひ話」を集めてみた。萩尾周辺にもいい話がたくさん落ちていたら拍手御喝采。

剣道部のOB、K君は卒業してかれこれ五年ほど経つ。それなのに今でも彼は五時半位になると道場に姿を見せる。もちろん後輩の面倒を見るためである。職場が終ったら、その足でそのまま母校に來るのが彼の日課なのだ。試験等練習を休んでいる時は別に、卒業以来ほとんど毎日、この日課を欠かしたことがない。なまじっかな部員などどういふ足許にも及ばぬ熱心さなのだ。いかに地元就職しているとはいえ、誰にもできないいい事である。

日頃、口やかましく言っているにもかかわらず、残念ながら、喫煙、交通違反、カンニング等で停学処分を受ける学生は後を断たない。停学の場合、反省日誌を学校側に提出するよう指導する。それ

を讀んでいて、よくクラスメイトが学校帰りに立ち寄って、無聊を慰めてくれると同時に、その日の授業内容を説明し、ノート等を見せてくれた、と記されてあるのだ。こんな内容に一度ならずくわす。「フーン、うちの学生もまだ捨てたものではないな」とひとり感心することがある。でも、考えてみるに、これは一体「武士の情け」なのだろうか、それとも「武士は相見互い」なのだろうか。

春になると学寮の庭先は色とりどりの花が咲き乱れて壯観である。それはちょうど新入生の入寮を歓迎するかのようだ。どうやらこれは寮母さんの尽力におんぶされてる部分も多分にあるようだが、それにしても寮生の丹精あつての事である。一見むくつけき寮生にも、花を愛する者がいるかと思うとうれしくなる。しばし花に足を止めて、この世の雑念を離れ、自然に同化する寮生もいることだろう。はれがましいことにこの花園、荒尾地区の花いっぱい運動で毎年入賞し表彰されている。通学生が寮に行く機会ほとんどあるまいが、春先には寮の庭先をのぞいてみるとうい。それは見事なものである。

### 新入生 オリエンテーション

昭和55年度のオリエンテーションが予定通り、5月13(火)14(水)15(木)日の三日間、天草青年の家で行われた。幸い天候にも恵まれ、野外訓練も含め、とことりなく日程を終えることができた。ただ、終了後の反省会で、意図するところを以前に戻し、4月に実施してはどうか、という意見が出て、昭和56年度はその線にそつて考慮中である。

**昭和55年度 父兄懇談会**

昭和55年度の父兄懇談会が例年にならつて7月17日、18日の両日にわたつて開催された。

学級担任との面談には殆んど全部の御父兄が出席されて熱心に意見の交換をされ所期の効果があげられたものと思われ。

なお、面談の午前グループと午後それとの交替の時間を見計らい、両日にわたつて、図書館三階の視聴覚教室で、学校長が挨拶をかねて総合的なことを、三王事が各々管掌に關しての主要な事柄をお話し、御父兄の御意見などもお聞きし、学生指導、学校運営などの参考になったものと思つた。

### 入学試験などに関する説明会

昭和56年度入試説明会が、10月24日、本校視聴覚教室において、中学校の先生・生徒・父兄を招いて開催された。

### 昭和56年度 入学志願者募集要項

募集人員 160人  
▽募集人員 160人  
内訳 機械工学科 40人  
電気工学科 40人  
工業化学科 40人  
建築学科 40人  
▽検査 学力検査  
昭和56年2月22日(日)  
(理科、英語、数学、国語、社会)

▽願書受付  
昭和56年2月2日(月)から2月10日(木)まで 日曜日を除き毎日午前8時30分から17時まで  
ただし、土曜日は12時30分までとする。(郵送分も同期間内に必着のこと)

▽提出書類  
入学志願票、調査書、写真、入学検定料  
▽提出先 本校学生課教務係(持)

第5回 編入学試験  
8月28、29の両日にわたって第5回目の、工業高校からの編入学試験が実施された。

### 鈴鹿高専寮を訪ねて

校長 吉村虎蔵

「阪はるるるる鈴鹿はくもる...」の追分への唄の鈴鹿、鈴鹿山のイメージから山辺の学校を想像していたが、名古屋駅からおしほりサビスの近鉄特急で四十分、海辺に近い白子駅に降りた。車で七分程二・五料で高専。広い平野の真ん中、鈴鹿の山脈はかすんで見えない。旧海軍飛行場の跡地の一角で、高専前を東西に走る八百米程の広い直線道路に沿って、ケヤキの植込みがすばらしい。正門を入ると正面管理棟の高い時計塔に国旗と校旗が目に入った。

浴室。他に三重高農校舎の廃材で造った四五〇平方メートルの棟がありこれが終夜自習室と合宿用に兼用され、和室三室、洋間一室、各室には教官の筆による軸物や額がかけられている。寮の各棟には、寮監室、寮母室、週番室、談話室などがあり、室内の整理も整頓も見事である。いつ来てもこのようにきれいですとは他校の校長の話である。ガスコンロ、ジュース自動販売機、大きいテーブルを備えた補食室が一つあり、卓上に華道クラブ員が生けた生花がある。廃棄プラスチックで造った屋根からの光の明るい洗濯場は雨天物干場に兼用されている。個室入口の防虫網戸、換気ファンなど細かい配慮がなされ、寮周辺の雑草の刈込みも寮生の作業によるとのこと。

### 丸山幸男事務部長の逝去を悼む

校長 吉村虎蔵



弔辞を抄録して追悼の詞とする。丸山事務部長が微熱と咳を訴え週二回の通院を申出されたのは、私が四月着任後間もない頃のことでありました。五月初め鹿児島出張のあと高熱が続き、病名不明のまま九州大学附属病院に入院されたのは六月三日のことでありました。九大局、関係各位の数々の御配慮と奥様の手厚い看護にもかかわらず、八月十三日午後十時三十分不幸のひととされました。まことに痛惜のきわみであります。

部長は東京都出身で、昭和二十六年から東京医科大学、四十六年から北九州高専、四十八年から福岡教育大学を歴任のあと、五十二年本校事務部長として着任されました。温厚誠実、几帳面で厳格な性格の一面、ゴルフなどスポーツ万能で、宴席での歌も若々しく常に部下を暖かく指導され、各学科の特別設備の導入や選択教室棟新築、第二体育館新築など、本校の設備施設の拡充に大きく貢献され、この度その功績に対して勲五等瑞宝章の叙勲がありました。

### 第13回 四高専吹奏楽部 合同演奏会

同演奏会が8月27日6時より大牟田市民会館にて開催された。

第10回北九州高専で行われた頃より、合同演奏会を続けていくことと是非が問われるようになってきた。適当な練習場がなく周囲に騒音公害に類した迷惑を多少なりともかけずにはやっていけない。宿舎の確保が難しい。それ以上に学生間における一種の沈滞ムード、モラルの低下ともいえるものがあり、情性で続けても意味がないという意見が顧問間であがってきた。そのため、第11回の大分高専での公演から、各高専の学生主事、学生課長、顧問等からなる会議が開かれ、検討がなされた。又学生へのアンケート調査が行われたが、学生の意志は、続ける方向に固く、それならばというので、第12回以降の実施が進められることになった。第11回の大分高専では、市の郊外の山上の青年の家が使用され、一般市民に与える影響はなかったが、学生間では、その窮屈さについて語っていた。大分は顧問(森先生)一名であるが、学校(主事室、事務部)のバックアップは完璧に近くて直しの第一歩はふみ出されたといっただろう。久留米では、合同演奏会の発案者で

### 高専体育大会

第17回九州地区大会に本校生、各種目に健闘、野球部初制覇を果す。

するが、その指揮振りは、有明の七回生の古賀利君を思わせた。余談ながら、古賀君は勤務先を辞めて、イタリアの音楽大学に留学し、近く帰国する。

### 全国大会結果報告

第15回全国高専体育大会は長野高専を中心に、中部地区で八月八日から二日間熱戦が展開され、本

先七月三十一日、八代高専において、第十三回九州地区高専英語弁論大会が開催されました。我が校からは、(5C)武末、(4M)齊木、(3C)馬場の三名が参加し、ほか七高専二十二名とともに熱戦を繰り広げました。発音や流暢さ、態度などにおいては他の校に劣らぬ三名でしたが、惜しくも入賞できませんでした。弁論の奥深さを感じさせられた大会で、ESS(4M)志賀

### 同窓会だより

同窓生の皆様お元気でしょうか。同窓会も事務引継ぎをし、やっと軌道に乗っております。ところで左記により総会を開催しますので御案内いたします。

九州地区高専体育大会(冬期)予告  
グビー)は来る十一月二十日から二十三日まで、都城市営競技場で開催される。今回からA・B地区が一化され、全九州八高専がトーナメント方式で全国大会出場の栄冠を目指して奮闘する。本校は小粒ながら精一杯の努力を重ねている。健斗を祈る。(主事室)

# 第11回体育祭を顧みて

第11回体育祭は、九月二十日（日曜日）、晴天に恵まれて、午前八時半から予定通り、本校グラウンドで行われ、盛会のうちに午後三時五十分を終了した。

ここで総括的な印象をのべ、関係教官各位、学生会実行委に心からの感謝の意を捧げたい。

先ず、準備段階では、体育教官の御指導を得ながら、学生会実行委員長以下全員が当日までよく努力した。また例年のことながら、市

中パレードの準備には寮生が余暇を投入して様々の作業に奉仕活動を惜しまず、見事な御典を作成してくれた。

本校体育祭の自慢は各応援団の背景を飾る見事な絵模様のバックボードである。今年も前回におとらず各団とも趣向を凝らして立派な絵を画き上げ、またその取り付も堅固で、力学的に何ら不安のない構造であったと聞く。関係者の努力のお蔭で、それぞれの巨大

な絵が秋空に映えた。

次に、今回の体育祭を機会に、後援会の援助をいただき、きれいな市中パレード用のハッピが新調された。将来のためにも保管を厳重にし、永く利用してゆきたいものである。この紙面をかりて御父兄の皆様へ厚く御礼を申し上げる。

ここで反省点を少々、準備には万端遺漏のない様に心がけたはずだが、連絡方法、事前確認に多少の食いちがいが有り、放送担当と現場との間に問題があった。今後は尚勉強して改善すべきことであろう。もっとも予行練習が雨にたたられ充分出来なかつたためなことであつたとも言えようか。ともあれ、体育祭は全体として

最初にも述べた通り、盛會裡に活発な明るい雰囲気終始した。重ねて皆様の御努力に対して厚くお礼を申し上げます。

◇

体育祭実行委員長 浦島和浩  
 体育祭実行副委員長 西郡考志

優勝 建築学科  
 敢闘賞 機械工学科  
 応援賞 機械工学科  
 (品川 記)

各科団長  
 M 橋本和也  
 E 樋水正一  
 C 園田 稔  
 A 吉田優美



▲機械工学科バックボード



▼電気工学科バックボード



◀工業化学科バックボード



## 本校日本庭園に 緋鯉多数寄贈さる

10月半ばから、本校機械工学科中庭にある貯水池兼日本庭園の池に黄色、紅白など多量に成長した緋鯉多数が群をなして泳ぎ廻り、いこいの庭にくつろぐ学生の目を楽ませている。

これは市内久福木の原口常一(六三)夫妻が自宅の池で老後の楽しみにと手塩にかけて育ててきたものを、この程ご主人が病氣療養のため入院することになり、手がとどかなくなるため思いきって手離すことにした。どこか愛情をもって育ててくれるところがあればとの原口さんの希望を聞いて本校でもらい受けたもので、学校側から、感謝状を贈って原口さんに謝意を表した。

### 感謝状

大牟田市大字久福木 原口常一殿

この度色鮮やかな緋鯉多数を二寄贈戴き、本校日本庭園の池に一段とうるおいを添え、学生の心をなごませております。心豊かな教育環境の醸成に多大のご協力を戴いたその功績をたたえ茲に感謝状を贈ります。

昭和五十五年十月二十日  
 有明工業高等専門学校  
 校長 吉村虎蔵

風胴本体も完成し、昨年度末に稼働式を行い、いよいよ風胴を使用する段階を過ぎて迎えようとしているが、それに先だってまだ未完成の付属建物及び風胴本体の基礎のアンカーボルトへのモルタル充填等の工事を本年度前期の主たる目標として行ってきた。

9月13日(土)基礎の底部及びベースマット部分のコンクリートを打設した。強度180kg/cm<sup>2</sup>、スランプリットをD10を用いて20cm間隔に配筋した。また基礎の部分として柱型に鉄筋を組み、主筋にD13を8本を使用し、帯筋にD10を10cm

間隔、タスキ筋にD10を20cm間隔に配筋したものを設置した。9月13日(土)基礎の底部及びベースマット部分のコンクリートを打設した。強度180kg/cm<sup>2</sup>、スランプリットをD10を用いて20cm間隔に配筋した。また基礎の部分として柱型に鉄筋を組み、主筋にD13を8本を使用し、帯筋にD10を10cm

### 総合実習レポート (13)



写真1 空気取入れチャンバー建築工事用の鉄骨の切断

鉄骨工事は機械工学科の学生が主として行った。柱梁の鉄骨としてH1200×100×5.5×8を用い、ベースプレートとして厚12mmの鋼板を溶接した。構造は梁間方向はラーメン構造、桁行方向はブレースにて水平力に耐えるようにした。

2 風胴本体基礎工事  
まだ未充填のアンカーボルト孔及び風胴本体ベースプレートと基礎の隙間にモルタルを充填した。

3 工作室—プロジェクト室  
間仕切工事

4 駆動部チャンバー建築工事  
駆動部チャンバーの建物の構造体は昨年度末に出来上っていたので、これに防音用の扉を製作取り付けした。扉は内部にグラスウールを充填し、扉と枠の隙間はビニ

風胴の空気取入れ口を覆う空気取入れチャンバーの工事は昨年度末までにおいて基礎の根切りがほぼ完了していた。本年度においては、この根切底をきれいにさらえることから工事は始められた。根切底の上に厚さ15cmの割栗石をならべ、目つぶし砂利として25mmの砕石を入れて、手だこでつき固めた。手だこは材木店より大きな松丸を購入し、これを使用して学生の手で作成した。重さは学生4人でやっと持ち上げられる程度である。割栗石の上に、6月10日(火)に捨てコンクリートを打設した。スランプリット、強度135kg/cm<sup>2</sup>の生コンクリート、打設量17.7m<sup>3</sup>である。打設は5A8人が行った。捨てコンクリートの上に、9月1日(月)〜2日(火)基礎、側壁の位置を算出した。作業は5A卒業生が主として行った。全作業を通じて、作業の重要な部分は主として卒業

生が行うようにした。これにききだつて5月26日より建物基礎及びピット側壁の鉄筋加工を始めた。作業は3C3A4A5Aが行った。また基礎及びピット側壁の型枠を6月28日(土)より始めた。作業は鉄筋の加工と同じく3C3A4A5Aが行った。型枠にはコンクリートが附着しないように剝離剤を塗った。型枠はピットのベースマット部分が5種類28枚、基礎

間隔、タスキ筋にD10を20cm間隔に配筋したものを設置した。9月13日(土)基礎の底部及びベースマット部分のコンクリートを打設した。強度180kg/cm<sup>2</sup>、スランプリットをD10を用いて20cm間隔に配筋した。また基礎の部分として柱型に鉄筋を組み、主筋にD13を8本を使用し、帯筋にD10を10cm

表-1 総合実習経過表(9)

実習項目	実習経過(月)							実習者数×時数(人時)											
	4		5		6		7		8		9		M	E	C	A	小計		
空気取入れ チャンバー 建築工事	設計															300	300		
	遣方工事															12	48	60	
	鉄骨工事	柱および梁製作													530	88		618	
		根切															32	32	
	基礎工事	割栗石														12		85	97
		捨てコンクリート															16	16	
		型枠														21	12	67	100
鉄筋加工組立															24	60	95	179	
コンクリート															12		32	44	
風胴本体基礎	アンカーボルトモルタル詰め														12		32	44	
駆動部チャンバー建築工事	建具工事													148	48		196		
	雑工事														9		12	21	
工作室—プロジェクト室間仕切工事															9		12	21	
吹出チャンバー建築工事	ディフューザー床工事														354	8		362	
通算累計												1032	243	84	731	2090			

ルスポンジで密閉できるようにした。  
**5 工作室—プロジェクト室 間仕切り工事**  
 雨が降り、屋外作業の困難な場合は間仕切り壁のブロック積作業を行った。ブロックは厚19cmの補強コンクリートブロックである。  
**6 吹出しチャンバー建築工事**  
 吹出しチャンバーの床は、空気の流通をよくするために厚8mmのエクスパンドメタルを取付けた。  
**7 おわりに**  
 総合実習は、学生と教職員が一体となって一つのプロジェクトを完成させて行くのである。そこに苦勞もあれば喜びもある。教職員は指導する立場にあり、学生は勉勵立場にある。しかし、学生と

一緒に頑張って事をやり、学生のひたむきな仕事ぶりに心を打たれることは何度もあった。不平を言わず、汗をながし、楽しんで、大きな目標に向かって、黙々と仕事をしているのを見ると、このこと自体がなにより教育効果ではないかと思える。  
 (建築・吉岡)

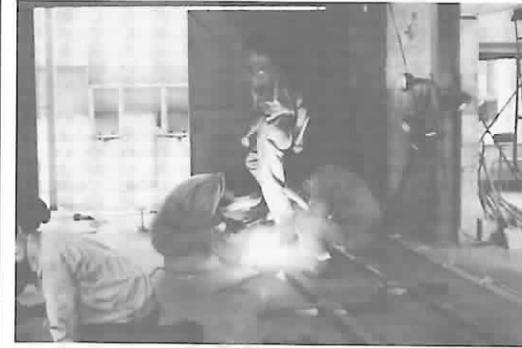


写真4 吹出しチャンバー建築工事  
ディフューザー床の小梁の作成

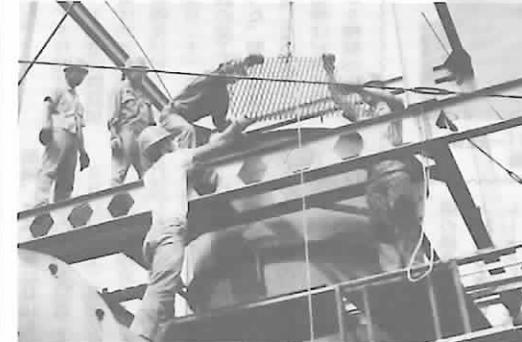


写真5 吹出しチャンバー建築工事  
ディフューザー床のエクスパンドメタル取付



写真6 駆動部チャンバー建築工事  
防音扉へのグラスウール充填



写真2 空気取入れチャンバー建築工事  
ビットのベースマットコンクリート打設



写真3 空気取入れチャンバー建築工事ビットのベースマットコンクリートの空気量の測定

表-2 昭和55年度総合実習・後期時間割

曜	学科	機 械 工 学 科 (M)	電 気 工 学 科 (E)	工 業 化 学 科 (C)	建 築 学 科 (A)
月				5 C (4~7) 卒業研究 (吉武)	
火		3 M (2~4) 工学実験 (清森・中村・多田限) 5 M (5~7) 卒業研究 (清森・田口・中村・多田限・中河原)	5 E (5~7) 卒業研究 (武下・浜田)		5 A (5~6) 卒業研究 (吉岡・田中)
水		5 M (5~7) 卒業研究 (清森・田口・中村・多田限・中河原)	5 E (5~7) 工学実験 (浜田)	3 C (5~8) 有機化学 (松本)	5 A (3~8) 卒業研究 (吉岡・田中)
木		4 M (5~7) 工学実験 (清森・中村・多田限)	4 E (5~7) 工学実験 (武下)	4 C (5~8) * 工化実験 (渡辺)	3 A (5~8) 建築実験 (吉岡・近藤)
金			5 E (5~7) 卒業研究 (武下・浜田)	5 C (5~7) 卒業研究 (吉武)	
土		5 M (1~4) 卒業研究 (清森・田口・中村・多田限・中河原)	5 E (2~4) 卒業研究 (武下・浜田)	5 C (2~4) 卒業研究 (吉武)	4 A (1~4) 建築実験 (吉岡・村久木)

上段の文字は学年・学科(時限)、下段は学科目(指導教官・技官)を示す。  
 なお\*印は廃水処理実習を示し、工業化学棟で実施する。